

関門海峡ミュージアム

本州と九州を隔てるこの狭くて流れの速い海峡は、古代から重要な海路だった。日本海と瀬戸内海を結ぶ重要な海上の交差点として、関門海峡には毎日何百隻もの船が行き来している。関門海峡ミュージアムのオーディオビジュアルを駆使した展示や体感型の展示は、この地域の歴史と現代の海洋生活についての魅力的な旅へと誘う。旅はチケット売り場とカフェがあり、眼下に海峡の広い景色が広がる4階のプロムナード・デッキ・ラウンジから始まる。展示エリアへは、らせん状のスロープを下って行き、インタラクティブ・モニターを使って、海峡の生活に関するゲームやクイズに挑戦することができる。

3階の関門海峡ヒストリー・ギャラリーでは、この地域の色彩豊かで、しばしば波乱に満ちた過去を紹介する独創的なジオラマが展示されている。それぞれのジオラマには、英語、韓国語、中国語繁体字・簡体字の情報パネルが設置されている。この経路は1階の関門海峡レトロレーン付近に行き着くが、そこでは1910年～1920年台の繁栄した門司港の通りを再現している。